

令和3年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(一財)札幌産業流通振興協会	所管課	経済観光局国際経済戦略室経済戦略推進課
基本財産	50,000千円	記入者	担当 吉田 電話 011-211-2481
設立年月日	昭和57年(1982年)2月18日	本市出資額	30,000千円 (出資割合 60.0%)
設立・出資目的	道内外の工業製品等の展示紹介等を通じて、本道産業の高度化と経済取引の円滑化及び流通機能の拡大強化を図り、もって経済の健全な発展に寄与することを目的とする。	出資年月日	昭和57年(1982年)2月18日
代表者	理事長(非常勤) 石川 敏也 (副市長)	沿革	昭和57年 札幌流通総合会館の運営・建設主体として当該財団法人を設立。 昭和59年 札幌流通総合会館が開館。 平成25年 整備法第123条第1項に定める移行法人となる。
主な出資者	① 札幌市 (60.0%) ② 北海道 (20.0%) ③ 関係経済団体 (20.0%) ④ ⑤ ⑥		
団体所在地	〒003-0030 札幌市白石区流通センター4丁目3番55号 電話 011-865-5811		

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 札幌流通総合会館の管理運営による産業流通振興事業 (6ページ)	②
道内各企業及び団体が札幌流通総合会館を活用し、展示会やイベント等を開催することにより、道内の製造、卸及び小売業の振興に寄与している。	
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合	100.0% (主要事業支出合計 278,622千円 ÷ 総支出 278,622千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	財団は当施設を適正に管理しており、「展示会・見本市」や「即売会」等の開催を通じて札幌市の産業振興に寄与している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	多くの展示会等を開催することで、札幌市の産業振興に寄与しているほか、健康・福祉等をテーマとした主催イベントの開催を通じて、市民生活の向上にも貢献している。

3 団体職員・構成員等

令和3年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成		役員任期			
役員					9	10歳代	0	40歳代	1	理事	2年
常勤理事	1	0	0	0		20歳代	0	50歳代	2	監事	4年
常勤監事	0	0	0	0		30歳代	1	60歳代	0	代表権のある役員 の就任年月	
非常勤理事			6			平均年齢		50.5 歳		理事長	R1.6
非常勤監事			2							副理事長	
職員					7	職員総数の推移(人)					
常勤管理職	1	0	2	0		H31.4.1時点	8				
常勤一般職	0	0	2	1		R02.4.1時点	8				
非常勤職員			1								

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分			R1年度決算	R2年度決算	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	240,698	175,623 (100.0%)	(▲ 65,075)
			経常費用(b)	256,768	278,622	(+21,854)
			うち管理費等(c)	75,440	82,572 (47.0%)	(+7,132)
			うち人件費(d)	66,610	70,091 (39.9%)	(+3,481)
			当期経常増減額(e)	▲ 16,070	▲ 102,999	(▲ 86,929)
	当期正味財産増減額(f)			▲ 16,070	▲ 102,999	(▲ 86,929)
	貸借対照表	資産(g)		1,508,895	1,379,333	(▲ 129,562)
		流動資産(h)		103,645	93,600	(▲ 10,045)
		固定資産(i)		1,405,250	1,285,733	(▲ 119,517)
		うち基本財産(j)		50,000	50,000	(0)
		負債(k)		92,641	66,079	(▲ 26,562)
		流動負債(l)		43,246	42,850	(▲ 396)
		固定負債(m)		49,395	23,229	(▲ 26,166)
		正味財産(n)		1,416,254	1,313,254	(▲ 103,000)
		借入金残高(o)		0	0	(0)

R2年度決算の概要	
区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
(a, b, f)	大展示場冷房設備工事等を実施したことにより、経常費用(b)が21,854千円増加した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設稼働率が前年度から27.1%減少したことに伴い、経常収益(a)は65,075千円減少し、当期正味財産増減額(f)は102,999千円の赤字となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R1年度決算	R2年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額			(0)
うち市業務委託分			(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入			(0)
うち非公募			(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R1年度	R2年度	(前年比)	評価基準	備考	
(1)健全性	剰余金(n-j)	1,366,254	1,263,254	(▲103,000)	前年比較増	正味財産-基本財産	
	自己資本比率(n÷g)	93.9%	95.2%	(+1.3%)	≥50%	正味財産÷資産	
	流動比率(h÷l)	239.7%	218.4%	(▲21.2%)	≥150%	流動資産÷流動負債	
	固定比率(i÷n)	99.2%	97.9%	(▲1.3%)	≤100%	固定資産÷正味財産	
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産	
(2)生産性	職員一人当たり経常収益	30,087千円	21,953千円	(▲8,134千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数	
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	27.7%	39.9%	(+12.2%)	前年比較減	人件費÷経常収益	
	職員一人当たり管理費	9,430千円	10,322千円	(+892千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数	
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	31.3%	47.0%	(+15.7%)	前年比較減	管理費等÷経常収益	
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益	
	市財政的関与割合(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益	
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い					
理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止が相次いだことにより、経常収益が減少したほか、施設改修等を実施したことにより職員一人当たりの管理費が増加したため、前年度と比較すると生産性は減少しているが、債務超過、累積欠損がなく、自己資本比率・流動比率とも望ましい水準にあり、健全性は高い。また、本市からの財政的関与がなく自立した経営を行っている。						

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の総括評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況と集中取組期間の総括評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○施設と財団の在り方検討及び出資の見直し検討							
①	市出資金	目標	30,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円
		実績	30,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円
②	市内展示施設等のあり方検討調査の実施	目標	-	調査実施	見直し	見直し	見直し
		実績	-	調査実施	見直し	決定	決定
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	平成31年2月に開催された出資団体改革推進本部会議での検討結果について、令和元年11月5日開催の行政評価委員会に報告し、アクセスサッポロは本市の産業振興に必要であり、財団による管理・運営及び出資継続の判断についても妥当と判断された。						

(2)人的関与

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○必要な人的関与の継続							
①	本市職員の派遣数	目標	0名	0名	0名	0名	0名
		実績	0名	0名	1名	1名	0名
②	本市職員の理事就任数	目標	1名	1名	1名	1名	1名
		実績	1名	1名	2名	2名	1名
③	本市職員の評議員就任数	目標	1名	1名	1名	1名	1名
		実績	1名	1名	1名	1名	1名
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評	平成29年度から施設や財団の在り方、出資の見直しを検討するうえで、本市と密接な連携を図る必要があるため、経済振興策に関する十分な知識を有する本市局長職を派遣していたが、これらの検討が						

価	一旦終えたことから、令和元年度からは本市局長職の派遣を引き上げている。なお、本市職員の役員（理事・評議員）就任については、出資者としての経営責任を果たすために引き続き行っていく。
---	---

(3) 団体の活用

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○本市産業の振興に資する自主事業の開催							
①	主催・共催事業の開催数	目標		年5回	年5回	年5回	年5回
		実績	年5回	年5回	年5回	年5回	年2回
②	異業種交流会の開催数	目標		年2回	年2回	年2回	年2回
		実績	年2回	年2回	年2回	年2回	年1回
○総括評価							
		達成					
		【取組結果】					
評価	令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、開催を予定していた主催・共催事業及び異業種交流会をやむを得ず中止した結果、目標を下回ったが、これまで当団体のネットワークを活用して公共性の高いイベントを積極的に開催しており、札幌市の産業振興に資する事業を着実に実施している。						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○施設利用率の向上							
①	日数稼働率	目標		80%	80%	80%	80%
		実績	76.70%	83%	82.7%	83%	76.1%
②	新規誘致件数	目標		15件	15件	15件	15件
		実績	14件	33件	9件	14件	14件
○総括評価							
		未達成					
		【取組結果】					
評価	令和元年度以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、イベントの中止が相次いだ結果、令和2年度の日数稼働率および新規誘致件数は目標を下回ったが、平成30年度までについては、既存顧客の維持や新規顧客の開拓に向けた取組を行った結果、日数稼働率は目標を超えており、新規誘致件数も目標に近い実績を達成していた。						

(5) 団体統制

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○本市職員の理事・評議員就任（再掲）							
①	本市職員の理事・評議員就任数	目標		2名	2名	2名	2名
		実績	2名	2名	3名	3名	2名
○総括評価							
		達成					
		【取組結果】					
評価	本市から必要最低限の職員が役員に就任し、当団体への関与を継続している。						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○札幌市と連携した公益性の高いイベントの開催							
①	札幌市との共催イベント回数	目標		3回	3回	3回	3回
		実績	3回	3回	3回	2回	2回
○総括評価							
		達成					
		【取組結果】					
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大により、「こどものまちミニさっぽろ2020」が中止となったが、「いきいき健康・福祉フェア2020」及び「にぎわい市場さっぽろ2020」については、感染症予防対策を徹底したうえで開催した。						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報				
ホームページアドレス	https://www.axes.or.jp/			
Eメールアドレス				
【経営状況等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿	<input type="checkbox"/> 団体機構図	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書	<input checked="" type="checkbox"/> 予算書
<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画		
【事業情報等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報			
<input type="checkbox"/> その他（				）
ホームページ以外の情報媒体				
広報誌・冊子の発行：アクセスサッポロニュースの発行はホームページをリニューアルし充実したことにより、令和2年4月号をもって廃止した。				

※特記ない限り、本評価シート情報は令和3年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 札幌流通総合会館の管理運営による産業流通振興事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局国際経済戦略室経済戦略推進課	担当： 吉田	電話： 211-2481
(1)事業内容	(1) (一財)札幌産業流通振興協会 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響は大きかったが、新規催事の誘致1件を含む全58件の催事を開催した。 (2) 公益的な展示会等の主催・共催 (令和2年度の開催結果は以下のとおり) 札幌市等公的機関と連携した「いきいき健康・福祉フェア2020」など、2件の主催・共催事業を実施した。 (3) 異業種交流会の開催 (令和2年度の開催結果は以下のとおり) 例年は、年2回 (5月・11月) 開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により1回のみ開催となった。当団体のネットワークを活用し、参加を呼びかけ、異業種が交流するビジネスチャンスの場を提供した。 (4) 札幌流通総合会館 (通称：アクセスサッポロ) の管理及び運営施設の管理運営、建物の修繕及び設備の更新をした。		
(2)事業目的	道内外の工業製品等の展示紹介等を通じ本道産業の高度化と経済取引の円滑化及び流通機能の強化を図り、経済の健全な発展に寄与する。環境・福祉・子ども等の公益イベント主催・共催。情報提供により市民生活の向上を図る。		
(3)事業開始	昭和59年(1984年) 6月1日		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位: 千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		240,698 (100.0 %)	175,622 (100.0 %)	▲ 65,076
事業収支 (単位: 千円)	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入 (補助金除く)	228,140	145,193	▲ 82,947	
	その他収入	12,558	30,429	+17,871	
	費用 (支出)	256,768	278,622	+21,854	
	事業費	181,328	196,050	+14,722	
	管理費等	75,440	82,572	+7,132	
	収支差	▲ 16,070	▲ 103,000	▲ 86,930	
収支比率	93.74%	63.03%	▲ 30.71%		
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	新規顧客確保、リピーター確保に向けた企業訪問	60	60	60	60
②	インターネットによる情報発信 (アクセス件数)	99,304	99,000	116,367	120,000
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	展示会開催件数	120	120	58	120
②	新規誘致件数	14	15	1	15
③	使用率	76.1%	80.0%以上	49.0%	80%以上
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、やむを得ず中止となったイベントが多数あるため、稼働率については49%まで減少しているが、展示場の利用需要は週末を中心に底固く、適切な感染対策を行ったうえで、地域産業の活性化に寄与するイベントは開催されている。また、「いきいき健康・福祉フェア2020」など公益性の高いイベントを開催することで、市民生活の質の向上にも貢献しているほか、適切な修繕も実施しており、施設の管理・運営を良好に実施している。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、多数のイベントが中止となり、令和2年度稼働率は49%と前年度を下回った結果、当期正味財産増減額は102,999千円赤字となった。今後、施設の老朽化に伴い、修繕費の増加が予想されることから、経費削減に努め、更なる収支改善を図っていくことが求められる。

貸 借 対 照 表

(令和3年3月31日 現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	81,672,969	101,117,722	△ 19,444,753
未収金	11,926,910	2,527,624	9,399,286
流動資産合計	93,599,879	103,645,346	△ 10,045,467
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
定期預金	40,000,000	40,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	23,228,679	39,383,882	△ 16,155,203
修繕引当資産	402,867,240	532,409,800	△ 129,542,560
受入敷金引当資産	0	10,011,600	△ 10,011,600
特定資産合計	426,095,919	581,805,282	△ 155,709,363
(3)その他固定資産			
建物	773,842,491	746,267,471	27,575,020
構築物	31,275,903	23,514,500	7,761,403
什器備品	3,833,660	2,977,870	855,790
電話加入権	685,200	685,200	0
その他固定資産合計	809,637,254	773,445,041	36,192,213
固定資産合計	1,285,733,173	1,405,250,323	△ 119,517,150
資産合計	1,379,333,052	1,508,895,669	△ 129,562,617
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	36,818,714	28,370,470	8,448,244
前受金	5,557,200	14,489,050	△ 8,931,850
預り金	473,975	386,943	87,032
流動負債合計	42,849,889	43,246,463	△ 396,574
2. 固定負債			
退職給付引当金	23,228,679	39,383,882	△ 16,155,203
受入敷金	0	10,011,600	△ 10,011,600
固定負債合計	23,228,679	49,395,482	△ 26,166,803
負債合計	66,078,568	92,641,945	△ 26,563,377
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	1,263,254,484	1,366,253,724	△ 102,999,240
(うち特定資産への充当額)	(402,867,240)	(532,409,800)	(△ 129,542,560)
正味財産合計	1,313,254,484	1,416,253,724	△ 102,999,240
負債及び正味財産合計	1,379,333,052	1,508,895,669	△ 129,562,617

正味財産増減計算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	【 6,006 】	【 6,002 】	【 4 】
事業収益	【 145,193,412 】	【 228,139,540 】	【 △ 82,946,128 】
受取負担金	【 6,121,975 】	【 12,475,654 】	【 △ 6,353,679 】
受取補助金等	【 24,272,000 】	【 0 】	【 24,272,000 】
雑収益	【 29,451 】	【 76,960 】	【 △ 47,509 】
経常収益計	175,622,844	240,698,156	△ 65,075,312
(2) 経常費用			
事業費	【 196,050,005 】	【 181,328,089 】	【 14,721,916 】
管理費	【 82,572,079 】	【 75,439,530 】	【 7,132,549 】
経常費用計	278,622,084	256,767,619	21,854,465
当期経常増減額	△ 102,999,240	△ 16,069,463	△ 86,929,777
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引き前当期一般正味財産増減額	△ 102,999,240	△ 16,069,463	△ 86,929,777
当期一般正味財産増減額	△ 102,999,240	△ 16,069,463	△ 86,929,777
一般正味財産期首残高	1,366,253,724	1,382,323,187	△ 16,069,463
一般正味財産期末残高	1,263,254,484	1,366,253,724	△ 102,999,240
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,313,254,484	1,416,253,724	△ 102,999,240